

# 本郷消防団第五分団ニュース4 夏休み子供防災訓練特集

2004:8

7月31日～8月1日にかけて第三回子供防災訓練を文林中学校体育館で実施致しました。この訓練は、文京区の全面協力と、千駄木北町会・千駄木東林町会・千駄木西林町会の三町会と動坂地区町会が新たに加わり千駄木小学校生徒・PTA・文林中学校生徒(ボランティア)学校の先生、本郷消防署・駒込警察、そして本郷消防団第五分団と第六分団の協力により、実施いたしました。(子供の参加者は約100人) 主な訓練は、

- 1、起震車体験、煙ハウス
- 2、水消火器練習・大声測定(子供たちは元気よく大声を出していました)
- 3、応急救護訓練(体育館にて仮設タンカを二本の物干し竿と毛布を使い作る作業など)
- 4、D級ポンプによる放水訓練、子供達に実際にホースの筒先を持ってもらい水圧を感じてもらおう(千駄木小学校校庭にて、泥鰯掴みを子供達にしてもらおう) **これが子供には大うけでした。**
- 5、炊き出し訓練(文京区避難所内に有る大型の鍋や大型石油バーナ当緊急時用の用具を使い調理、当日は千駄木北町会の小鹿シェフが特別にプロの腕前を披露してくれました。
- 6、子供達に消防士の服装を着てもらい写真撮影
- 7、防災セミナー、夜九時消灯  
(なかなか寝むれない子供がいたとの事)
- 8、朝六時起床、ラジオ体操、朝食、八時半解散とかなりハードな訓練となっています。

今回の訓練は我々消防団にとっても、第五分団と第六分団が合同で訓練に参加した事により、団員同士の交流が生まれ、町会の人達とも事前に話し合いをして、今まで以上に地域町会との連帯感が生まれ、これからの消防団活動が円滑に行く事と思います。

今回、特に注目したのは、文林中学校の生徒がボランティアとして参加してくれた事です。朝10時頃から作業に参加してくれて、小学生の引率など積極的に運営に関わってくれました。

『8月1日の読売新聞、都民版に訓練の様子が紹介されていました。』



夏休み子供防災訓練の思い出を写真に



水消火器を使い消火訓練



子供達は消防車に興味しんしん



起震車体験中



放水訓練？（どじょうつかみ）





中学生ボランティアの受付

少学生を引率する中学生次はどの訓練？



訓練準備完了、



消防署員の説明を聞く子供達



裏方の地味な作業ですが。ビニールシートをガムテープで張り合わせ  
仮設プールを造りその中に泥鎧を入れて準備万全、  
何しろ100人の子供が中に入るのだから大きなプールが必要でした。





日頃遊びなれた校庭がブルーの  
大きな池に早代わり、夢中で遊ぶ  
子供達でした。

第五分団 分団長 石井 宏の挨拶

残暑御見舞い申し上げます。

この度の夏休み子供防災訓練を通じて第五分団は各町会の人達と事前に話し合いをして、皆様の要望を聞き、各町会の人たちの真剣さにもふれ、消防団の問題点と行き渡らなかつた事を反省し、これからも町の防災リーダーとして皆様に信頼される消防団を目指して行きたいと思ひました。又、今回初めて、隣り分団の第六分団と力を合わせて何とか無事任務を終える事が出来ました。第六分団の皆様、有難う御座いました。これからも益々各分団と関係を強化し、仲良く協力して行く事が大切と痛感致しました。

## 団員募集の御案内

第五分団では千駄木地区の若い団員を募集しています。自営業の方や会社員の方、又は大学生の18才～50代の人で男女を問いません、地域防災活動に興味のある方、是非お電話下さい。尚、各町会の役員の皆様、何卒団員確保に御協力下さい。

連絡先は、 石井分団長 3821-3527  
長濱部長 3823-0725 まで